

へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎ
平成27年度第2回川崎区区民会議

く ぶかい しだい
「だれもがいきいき暮らし部会」次第

にちじ へいせい ねん がつ にち か ごご じ ぶん
日時：平成27年7月7日（火）午後6時30分
ばしよ かわさきくやくしょ かい だい かいぎしつ
場所：川崎区役所7階 第1会議室

1 かいかい
開会

2 ぶかいちょう
部会長あいさつ

3 ぎだい
議題

- (1) しんぎかだい かいけつさく しゅほう けんとう しりょう
審議課題の解決策・手法の検討について（資料1～2）
- (2) しんぎすけじゅーる しりょう
審議スケジュールについて（資料3）

4 た
その他

はいふしりょう
【配布資料】

- ・ しりょう
資料1：「だれもがいきいき暮らし部会」審議課題について
- ・ しりょう だい きかわさきくくみんかいぎ ちいき みまも かつどう かん あん けー と ちょうさほうこくしょ
資料2：第5期川崎区区民会議「地域における見守り活動」に関するアンケート調査報告書
- ・ しりょう しんぎすけじゅーる
資料3：審議スケジュール
- ・ べつし だい きかわさきくくみんかいぎ いんめいぼ
別紙1：第5期川崎区区民会議委員名簿
- ・ べつし ざせきひょう
別紙2：座席表
- ・ さんこうしりょう へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎてきろく
参考資料1：平成27年度第1回川崎区区民会議摘録
- ・ さんこうしりょう だい かいかわさきくくみんかいぎ いくせいしえんだんたいじょうほうこうかんかいてきろく
参考資料2：第2回川崎区大師地区子ども育成支援団体情報交換会摘録

「だれもがいきいき暮らす部会」 審議課題について

審議テーマ 1：地域における見守り活動の充実

各団体に実施している高齢者などを見守る活動の実態調査

取組の方向性

◇見守り活動を行っている団体（町内会、民生委員、社会福祉協議会など）の実態を把握するためにアンケート調査を実施する。また、アンケート調査後は、アンケート結果を分析し、成功モデルの普及について検討する。

◇見守り活動の対象は、高齢者だけでなく、子どもを含めて調査する。

◇区全体では、数も多くなることから、区内3地区（中央、大師、田島）から同数程度、無作為で抽出すること等により、アンケート調査対象団体を選定する。

審議における検討事項

◇調査対象とする団体の整理

◇調査の目的をはっきりさせ、その目的達成のためのアンケート設計（設問として、見守りの対象、活動の課題・問題、活動のメリット・デメリット、財源など）

◇調査方法など

見守り活動を行っている各団体の連携方策の検討

取組の方向性

◇見守り活動を行っている各団体に呼び掛けを行い、情報交換会を定期的に開催する仕組みをつくり、連携ネットワークを構築する。

審議における検討事項

◇アンケート調査後に、盛んに活動をしている団体に焦点を当てて、ヒアリングなどを行い、詳細に活動等について把握

◇情報交換会を定期的に開催する仕組みの検討

【現在の状況】

◆見守り活動を行っている団体のアンケート調査を実施
（※集計結果については、資料2を参照）

【本日の検討事項】

◆アンケート集計結果より、見守り活動の実態を把握し、成功モデル等について分析する。必要に応じて、アンケート集計結果を分析する作業部会を開催する。
◆アンケートの中から特徴的な活動を行っている団体を選定し、ヒアリングを実施する（7～8月中）。
※本日の部会で、ヒアリングの対象団体の選定まで至らない場合は、近日中に作業部会を開催して決定する。

【今後の方向性】

◆アンケート集計結果及びヒアリング結果をもとに、特徴的な見守り活動を行っている各団体の取組を広報し、成功モデルとして普及・啓発や各団体の連携方策を検討する。
・具体的な広報の手法、媒体、対象等の検討
・団体同士の具体的な連携方策の検討

しんぎてーま こそだ とお せだいかんこうりゅう
審議テーマ2：子育てを通した世代間交流

こ いくせいしえんだんたいどうし じょうほうこうかんかい かいさい てんかい
子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

とりくみ ほうこうせい
取組の方向性

- ◇第1回情報交換会を開催した「大師地区」での第2回目の情報交換会を開催する。
- ◇新たに「田島地区」での第1回目の情報交換会を開催する。

しんぎ けんとうじこう
審議における検討事項

- ◇情報交換会の開催に向けた体制づくり
- ◇子ども育成支援団体同士のネットワークの構築に向けた検討

えほん よ き せだいかんこうりゅう じったいはあく そくしんさく けんとう
絵本の読み聞かせなどによる世代間交流の実態把握と促進策の検討

とりくみ ほうこうせい
取組の方向性

- ◇子育てを通した世代間交流を促進するための方策を検討

しんぎ けんとうじこう
審議における検討事項

- ◇子育てに関連した世代間交流に関する活動や団体の実態把握の方法の検討(絵本の読み聞かせなど)

へいせい ねんどうだい かいぶかい およ だい かいぜんたいかい だ いけん
平成27年度第1回部会(4/27)及び第1回全体会(5/26)で出された意見

- ①情報交換会で出される様々なアイデアを、こども文化センターや各種団体で実現していきたい。
- ②区民会議は、情報交換会の受け皿ではなく、きっかけである。地域の人が自主的に情報交換会を開催し、自分たちで課題を解決していくものである。事務局機能などの役割を誰が担っていくのかを考えていかないといけない。

げんざい じょうきょう
【現在の状況】

- ◆「子育てを通した世代間交流」をテーマに、平成27年6月2日に大師地区で2回目の情報交換会を開催(※当日の摘録については、参考資料2を参照)
- ・現状は各団体がバラバラに活動しているので、まずは協働してPRすることで、互いの活動を知るきっかけとなり、連携につながるのでは。
- ・今後も情報交換会を継続開催し、次回は具体的な連携策等についても検討したい。

ほんじつ けんとうじこう こんご ほうこうせい
【本日の検討事項・今後の方向性】

- ◆第2回大師地区情報交換会開催の成果・課題を整理する。
- ◆情報交換会の事務局機能をどうするかなど、継続運営できる体制づくりを検討する。
- ◆田島地区での開催の可能性を検討する。

しんぎてーま がいこくじんしみん く
審議テーマ3：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

がいこくじんしえんだんたい れんけい ぼうさいふ おーらむ かいさい
外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催
 (外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握)

とりくみ ほうこうせい
取組の方向性

- ◇外国人市民の防災意識の向上を図るため、外国人支援団体と連携した防災フォーラムを継続的に開催する。

しんぎ けんとうじこう
審議における検討事項

- ◇平成27年2月にカトリック貝塚教会で開催した外国人向けの防災フォーラムなどを継続的に開催する体制づくりの検討

げんざい じょうきょう
【現在の状況】

- ◆5月26日に「川崎市外国人市民意識実態調査(2014)」に関する勉強会を開催。本調査の報告書を参考に今後の検討について議論している。

ほんじつ けんとうじこう こんご ほうこうせい
【本日の検討事項・今後の方向性】

- ◆平成27年3月にまとめられた「川崎市外国人市民意識実態調査報告書」を踏まえ、今後の検討に活用する。
- ◆外国人向けの防災フォーラムの継続的な開催に向けて検討する。
 - ・貝塚カトリック教会での開催。貝塚カトリック教会以外での開催の検討。
 - ・幅広い外国人市民の参加と呼び掛け。

第 5 期川崎区区民会議「地域における見守り活動」に関するアンケート調査報告書（概要版）

■ 調査対象：区内で活動する高齢者及び子育て支援関係団体 140 団体

- 町内会・自治会 …………… 44 団体
- 民生委員児童委員 …………… 12 団体
- 地区社会福祉協議会 …………… 10 団体
- 老人クラブ …………… 30 団体
- 小中学校 P T A …………… 30 団体
- 母親クラブ・子育てグループ …………… 14 団体

■ 有効回答数：90 標本（回答率 64.3%）

1 回答者属性

- 各団体からの回答率は概ね 6 割以上となり、回答数としては、「町内会・自治会」（27 件）が最も多く、「小中学校 PTA」（21 件）、「老人クラブ」（20 件）と続いている。

2 「地域における見守り活動」の状況

(1) 見守り活動の内容

- 高齢者への活動事例では、「見守り・安否確認」（48 件）が最も多く、「会食、配食」と「健康づくり」（19 件）が同数で続いている。
- 子どもへの活動事例では、「保護者の交流」（31 件）が最も多く、「子育て支援」と「登下校の見守り」（20 件）が同数で続いている。
- 「その他」記入欄への特徴的な記載としては、「家の周りの掃除」、「草取り、樹木伐採、病院への送迎」、「談話室での談話、食事会、クリスマス会、花火大会、夏祭り」、「登下校の見守り自転車パトロール」、「みんなで取り組もう認知症予防（月 1 回）」が挙げられる。

(2) 見守り活動の対象者

- 「町内会・自治会」、「民生委員児童委員」、「地区社会福祉協議会」については、高齢者を対象とした見守り活動を中心に活動しているが、「一人親世帯」や「子どものいる世帯」を対象とした見守り活動を行っている団体もある。一方で、「小中学校 P T A」や「母親クラブ」については、「子どものいる世帯」を対象とした見守り活動を中心に行っており、「高齢者」を対象とした見守り活動は行っていない。

(3) 見守り活動の対象地域

- 「町内会」（53 件）を対象地域としている団体が最も多く、次いで「小学校」（36 件）の順になっており、生活圏に密着した地域で活動している団体が多い。

(4) 見守り活動の活動場所

- 「町内会館」（47 件）を活動場所としている団体が最も多く、次いで「自宅」（32 件）の順になっており、生活圏に密着した地域で活動している団体が多い。

(5) 見守り活動日数

- 「月 1～3 回」（43 件）との回答が最も多い。また、「毎日」と回答した団体も 12 件ある。

- (6) **見守り活動において、連携する地域活動者・団体**
- 「町内会役員」(48件)との回答が最も多く、次いで、「民生委員児童委員」(39件)、「地域包括支援センター」(24件)の順となっている。
- (7) **見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先**
- 「地域包括支援センター」(44件)との回答が最も多く、次いで、「民生委員児童委員」(39件)、「区役所」(25件)の順となっている。
- (8) **対象者の把握方法**
- 「自分たちで」(49件)との回答が最も多く、次いで、「近隣からの連絡」(36件)、「町会からの情報」(35件)の順となっている。
 - 「その他」記入欄の特徴的な記載としては、「町会で独自にアンケート調査を行い把握」が挙げられる。
- (9) **個人情報の管理**
- 「団体で管理」(51件)との回答が最も多くなっている。
- (10) **団体の活動財源**
- 「会費」(37件)との回答が最も多く、次いで、「市からの補助金」(34件)、「町内会等からの補助」(27件)の順となっている。
- (11) **人材育成**
- 「研修会」(54件)との回答が最も多い一方で、「なし」(25件)との回答が2番目に多い。
- (12) **現在の活動の課題**
- 「人員不足」(42件)、「人材育成」(21件)と団体の人材に課題があるとの回答が最も多く、次いで、「財源」(13件)、「地域の理解」(12件)の順になっている。
- (13) **活動の利点 (自由記述欄)**
- 地域住民との交流・親睦(16件)、情報取得・共有(17件)、地域住民への貢献・活動への感謝(25件)、その他(7件)
- (14) **今後の見守り活動の活性化に向けて (自由記述欄)**
- 人材育成・人材不足(12件)、広報の強化(8件)、活動の充実・継続(16件)、近隣住民の理解・協力(8件)、関係機関との連携(6件)、区への要望(4件)、その他(3件)。

(案)

第5期川崎区区民会議

「地域における見守り活動」

に関するアンケート調査報告書

平成27年7月

第5期川崎区区民会議

■目次■

第1章 調査概要	2
第2章 調査票	3
第3章 調査結果・分析	5
1 回答者属性	5
2 「地域における見守り活動」の状況	5
(1) 見守り活動の内容	6
(2) 見守り活動の対象者	7
(3) 見守り活動の対象地域	8
(4) 見守り活動の活動場所	9
(5) 見守り活動日数	10
(6) 見守り活動において、連携する地域活動者・団体	11
(7) 見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先	12
(8) 対象者の把握方法	13
(9) 個人情報の管理（対象者の情報管理）	14
(10) 団体の活動財源	15
(11) 人材育成	16
(12) 現在の活動の課題	17
(13) 活動の利点	18
(14) 今後の見守り活動の活性化に向けて	19

第1章 調査概要

■調査目的：

第5期川崎区区民会議「だれもがいきいき暮らす部会」の審議テーマとして「地域における見守り活動の充実」が挙げられており、川崎区内の関係機関・団体等が実施している高齢者・こどもの見守り活動の実態調査と関係機関・団体等の連携について検討するための基礎資料として活用する。具体的には以下の内容を調査する。

■配布対象：川崎区内で活動する高齢者及び子育て支援関係団体 140 団体

- 町内会・自治会…………… 44 団体
- 民生委員児童委員…………… 12 団体
- 地区社会福祉協議会…………… 10 団体
- 老人クラブ…………… 30 団体
- 小中学校PTA…………… 30 団体
- 母親クラブ・子育てグループ…………… 14 団体

■配布・回収方法：郵送または直接配布・回収

■調査期間：平成27年4月30日～6月12日

■有効回答数：90 標本（回答率 64.3%）

■調査項目：全19問 ※実際に使用した調査票はP.3～4に掲載

(1) 回答者属性（計5問）

- ①団体名称、②記入者氏名、③役職等、④電話番号、⑤記入日

(2) 「地域における見守り活動」に関するアンケート（計14問）

- ①見守り活動の内容（複数回答選択方式）
- ②見守り活動の対象者（複数回答選択方式）
- ③見守り活動の対象地域（複数回答選択方式）
- ④見守り活動の活動場所（複数回答選択方式）
- ⑤見守り活動日数（複数回答選択方式）
- ⑥見守り活動において、連携する地域活動者・団体（複数回答選択方式）
- ⑦見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先（複数回答選択方式）
- ⑧対象者の把握方法（複数回答選択方式）
- ⑨個人情報管理（複数回答選択方式）
- ⑩団体の活動財源（複数回答選択方式）
- ⑪人材育成（複数回答選択方式）
- ⑫現在の活動の課題（複数回答選択方式）
- ⑬活動の利点（自由記入方式）
- ⑭今後の見守り活動の活性化に向けて（自由記入方式）

第2章 調査票

川崎区区民会議「地域における見守り活動」に関するアンケート

川崎区区民会議は、区における地域社会の課題を把握し、その解決を図るため調査・審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資するため、区民を構成委員として設置されています。

この度、第5期川崎区区民会議におきまして、「だれもがいきいき暮らす部会」の審議テーマとして「地域における見守り活動の充実」が挙げられ、川崎区内の関係機関・団体等が実施しておられます高齢者・こどもの見守り活動の実態調査と関係機関・団体等の連携について、取り組むこととなりました。つきましては、お忙しい中誠に申し訳ございませんが、6月12日（金）までに、本アンケートの回答について、ご協力をお願いいたします。

○ 実施主体 第5期川崎区区民会議 専門部会「だれもがいきいき暮らす部会」

○ 事務局 川崎区役所まちづくり推進部企画課 担当 祢宜（ねぎ）

電話：044-201-3296 FAX：044-201-3209 メール：61kikaku@city.kawasaki.jp

団体名称			
記入者 (役職等)	()		
電話番号	— —	記入日	平成27年 月 日

質問事項	回答欄
見守り活動の内容 (活動対象別に、該当する活動事例に、○印を付けてください。当てはまらない場合、その他に記入してください。複数回答可)	○高齢者への活動事例 ・見守り、安否確認 ・外出支援 ・家事支援（買物・調理・掃除・洗濯） ・介護支援 ・会食、配食 ・趣味活動 ・健康づくり活動 ・その他（ ） ○子どもへの活動事例 ・相談 ・託児、保育 ・教育、各種講座 ・子育て支援 ・保護者同士の交流 ・その他（ ）
見守り活動の対象者 (○印を付けてください 複数回答可)	・高齢者単身世帯 ・高齢者のみの世帯 ・同居家族のいる高齢者 ・一人親の世帯 ・子どものいる世帯 ・その他（ ）
見守り活動の対象地域 (○印を付けてください 複数回答可)	・小学校区 ・中学校区 ・町内会 ・区内全域 ・その他（ ）

質問事項	回答欄
見守り活動の活動場所 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 ・老人いこいの家 ・その他 () ・町内会館 ・こども文化センター
見守り活動日数 平均的な活動状況を記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日 ・月 ___ 日 ・その他 () ・週 ___ 日 ・年 ___ 日
見守り活動において、連携する地域活動者・団体 関係する個人が所属する団体を記入して下さい。(○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員 ・行政担当者 ・なし ・その他 () ・民生委員、児童委員 ・地域包括支援センター
見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所所管課 ・地域包括支援センター ・子育て支援センター ・その他 () ・民生委員、児童委員 ・社会福祉協議会 ・なし
対象者の把握方法 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報 ・自分たちで ・その他 () ・町会からの連絡 ・近隣からの連絡
個人情報管理 (対象者の情報管理) (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体内で管理 ・必要に応じて連携する団体と共有 ・その他 ()
団体の活動財源 団体の活動財源を記入してください。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・会費 ・町内会等からの補助 ・その他 () ・市からの補助金 ・なし
人材育成 研修会等、団体に人材を育成している方法を記入してください。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、講演会等への参加 ・自主研修会の開催 ・なし ・その他 ()
現在の活動の課題 活動において、困っていることを記入してください。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・財源 ・活動の場所 ・人材育成 ・その他 () ・人員不足 ・地域の理解 ・なし
活動の利点 活動を行うことにより、良かったこと等を記入してください。	[]
今後の見守り活動の活性化に向けて 今後の団体活動の更なる活性化に向けて、取り組みたいことについて、記入してください。	[]

ご協力ありがとうございました。

第3章 調査結果・分析

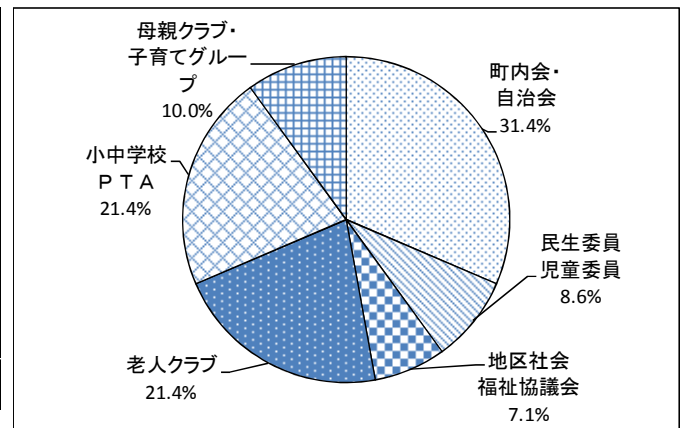
■有効回答数：90 標本（回答率 64.3%）

1 回答者属性

団体別回答者数

団体名	依頼数	回答数
町内会・自治会	44	27
民生委員児童委員	12	12
地区社会福祉協議会	10	2
老人クラブ	30	20
小中学校 P T A	30	21
母親クラブ・子育てグループ	14	8
合計	140	90

団体別回答者分布



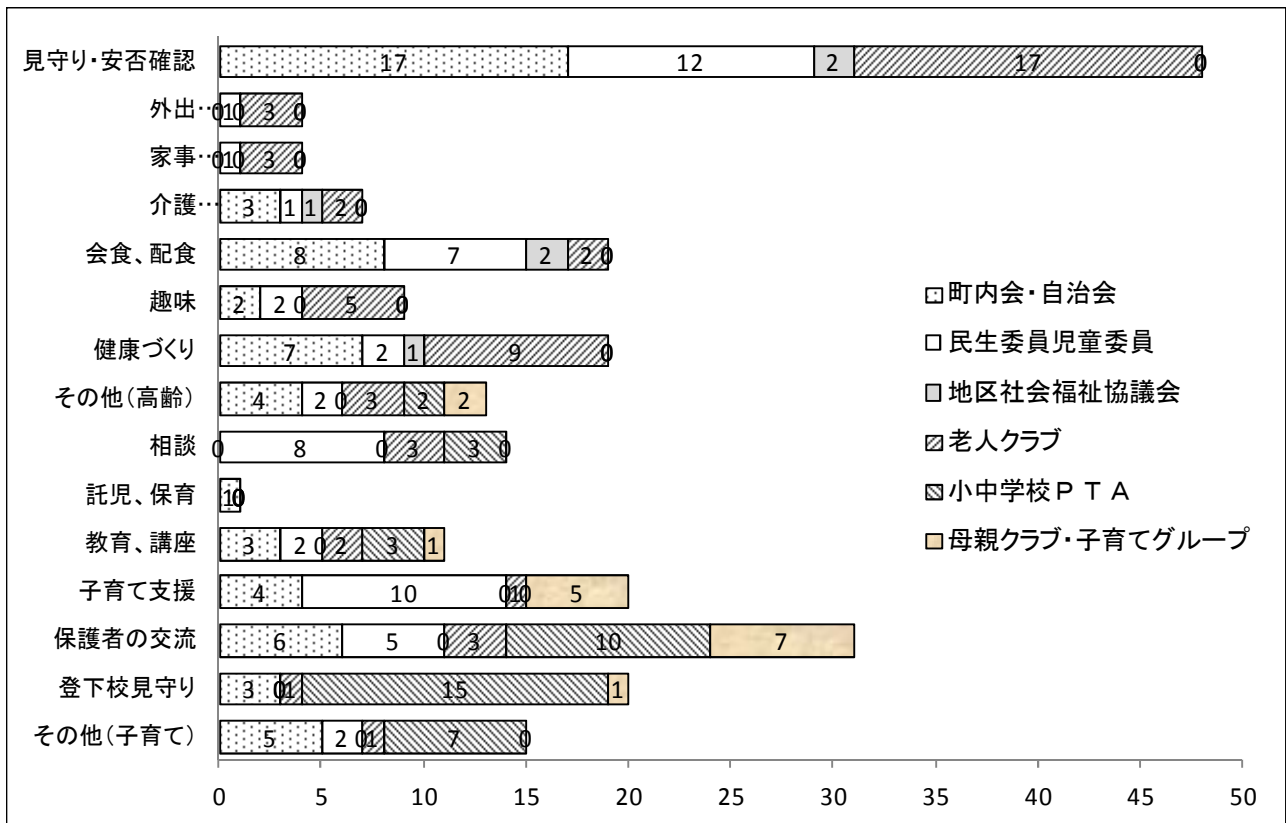
【団体別回答者集計結果】

- ・地区社会福祉協議会からの回答が少なかったが、その他は概ね 6 割以上の回答率となった。
- ・回答数としては、「町内会・自治会」（27 件）が最も多く、「小中学校 P T A」（21 件）、「老人クラブ」（20 件）と続いている。

2 「地域における見守り活動」の状況

（1）見守り活動の内容

	見守り・安否確認	外出支援	家事支援	介護支援	会食配食	趣味	健康づくり	その他（高齢）	相談	託児保育	教育講座	子育て支援	保護者の交流	登下校見守り	その他（子育て）
町内会・自治会	17	0	0	3	8	2	7	4	0	1	3	4	6	3	5
民生委員児童委員	12	1	1	1	7	2	2	2	8	0	2	10	5	0	2
地区社会福祉協議会	2	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブ	17	3	3	2	2	5	9	3	3	0	2	1	3	1	1
小中学校 P T A	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	3	0	10	15	7
母親クラブ・子育てグループ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	5	7	1	0
合計	48	4	4	7	19	9	19	13	14	1	11	20	31	20	15



【見守り活動の内容、集計結果】

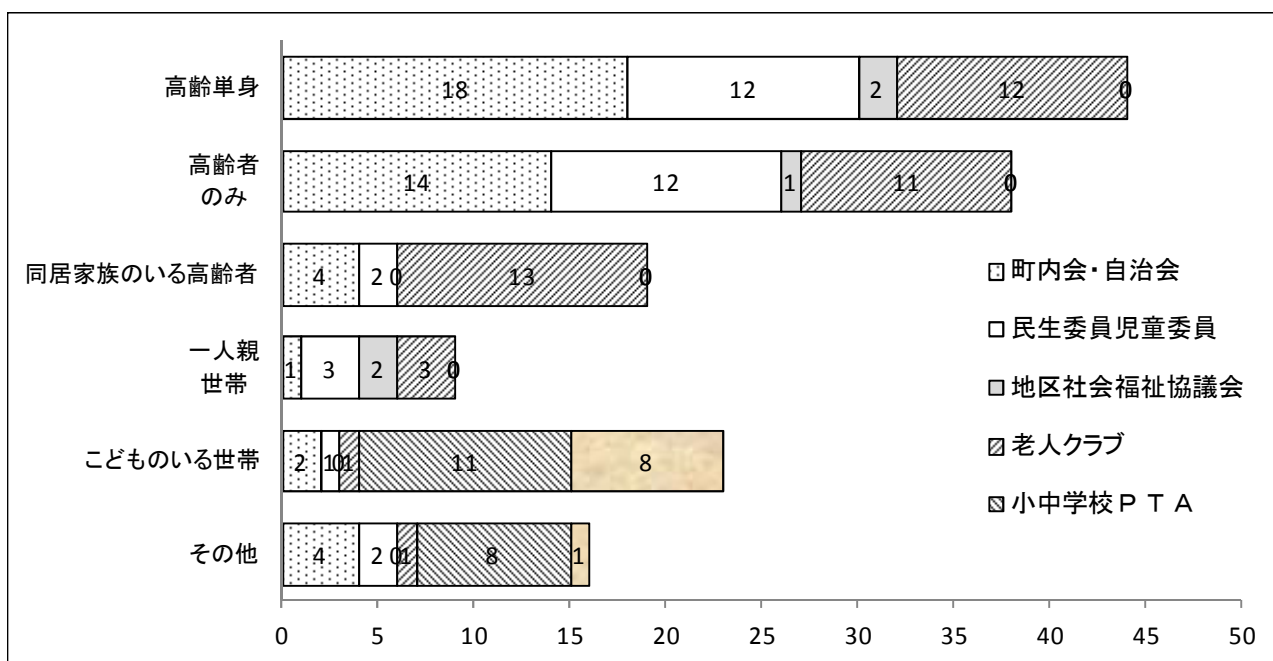
- ・高齢者への活動事例では、「見守り・安否確認」(48件)が最も多く、「会食、配食」と「健康づくり」(19件)が同数で続いている。
- ・子どもへの活動事例では、「保護者の交流」(31件)が最も多く、「子育て支援」と「登下校の見守り」(20件)が同数で続いている。
- ・「その他」記入欄への特徴的な記載としては、「家の周りの掃除(田島地区老人クラブ連合会)」、「草取り、樹木伐採、病院への送迎(鋼管通2丁目町内会)」、「談話室での談話、食事会、クリスマス会、花火大会、夏祭り(セソール川崎京町ハイライズ自治会)」、「登下校の見守り自転車パトロール(藤崎町内会)」、「みんなで取り組もう認知症予防(月1回)(浅田1・2町内会)」が挙げられる。

その他 記入欄の記載内容 (20件)

気になる世帯、心配される情報は行政機関、専門機関につなげる／各種行事の案内、学校との連携／老人会の集い／家の周りの掃除／春の川崎市交通安全教室／草取り、樹木伐採、病院への送迎、障害者／談話室での談話、食事会、クリスマス会、花火大会、夏祭り／放課後の子どもの見守り／運動会、盆踊り／登下校の見守り自転車パトロール／みんなで取り組もう認知症予防(月1回)／老人会による見守り／通学路交差点交通指導／行事、下校時パトロール／おはよう運動、夏休みパトロール／年2回校内の見回り、朝の挨拶等／登下校指導(2件)／通学時見守り／子供たちへのあいさつ活動

(2) 見守り活動の対象者

	高齢单身	高齢者のみ	同居家族のいる高齢者	一人親世帯	こどものいる世帯	その他
町内会・自治会	18	14	4	1	2	4
民生委員児童委員	12	12	2	3	1	2
地区社会福祉協議会	2	1	0	2	0	0
老人クラブ	12	11	13	3	1	1
小中学校PTA	0	0	0	0	11	8
母親クラブ・子育てグループ	0	0	0	0	8	1
合計	44	38	19	9	23	16



【見守り活動の対象者 集計結果】

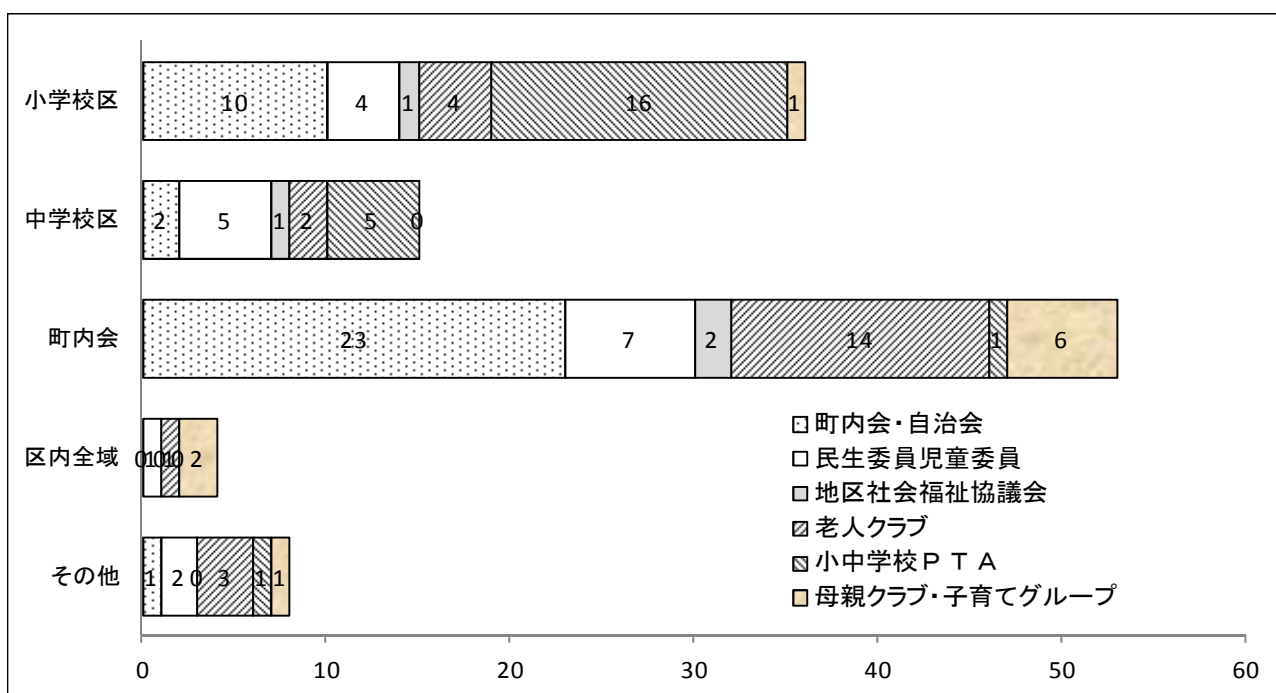
・「町内会・自治会」、「民生委員児童委員」、「地区社会福祉協議会」については、高齢者を対象とした見守り活動を中心に活動しているが、「一人親世帯」や「子どものいる世帯」を対象とした見守り活動を行なっている団体もある。一方で、「小中学校PTA」や「母親クラブ」については、「子どものいる世帯」を対象とした見守り活動を中心に行っており、「高齢者」を対象とした見守り活動は行っていない。

その他 記入欄の記載内容 (13件)

障がいのある、または疑いのある子を持つ世帯／子育てサロン／生活保護受給者／慰問対象者／小学生 (2件)／児童 (3件)／子ども／学校の生徒／中学生／全家庭

(3) 見守り活動の対象地域

	小学校区	中学校区	町内会	区内全域	その他
町内会・自治会	10	2	23	0	1
民生委員児童委員	4	5	7	1	2
地区社会福祉協議会	1	1	2	0	0
老人クラブ	4	2	14	1	3
小中学校PTA	16	5	1	0	1
母親クラブ・子育てグループ	1	0	6	2	1
合計	36	15	53	4	8



【見守り活動の対象地域 集計結果】

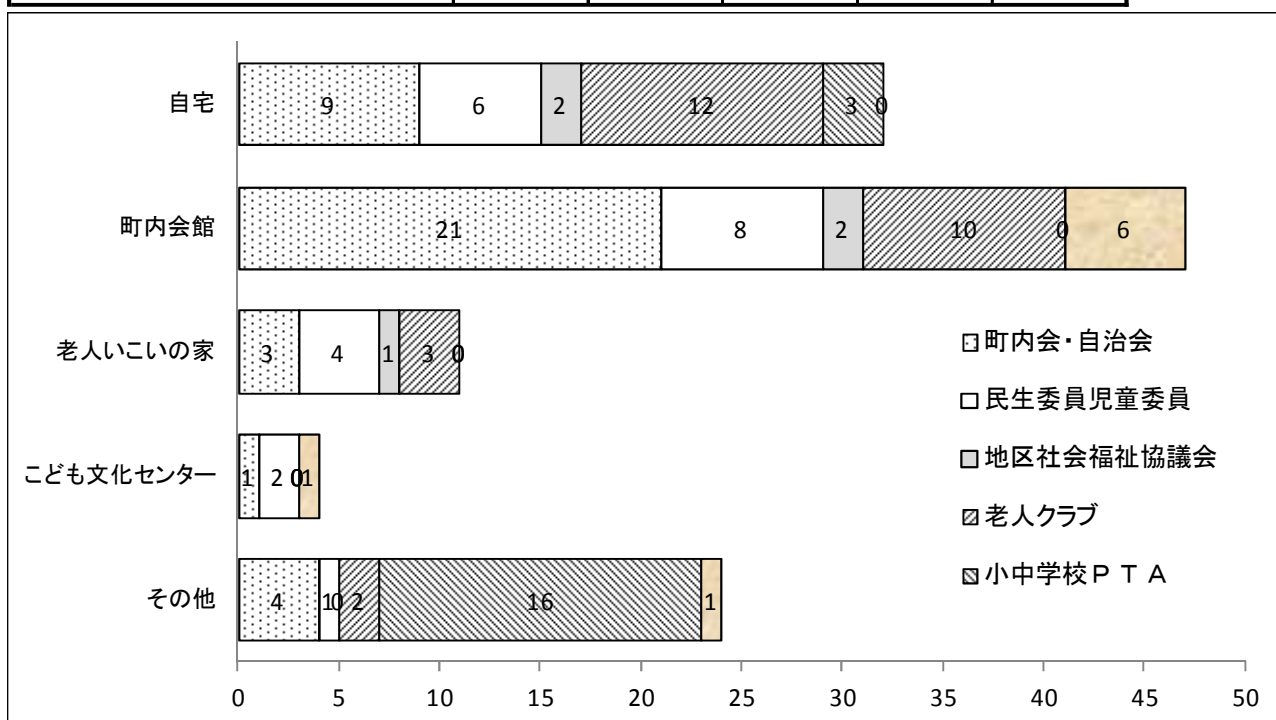
・「町内会」(53件)を対象地域としている団体が最も多く、次いで「小学校」(36件)の順になっており、生活圏に密着した地域で活動している団体が多い。

その他 記入欄の記載内容 (5件)

一部幸区／老人クラブ／相談事例によって範囲拡大／老人会員、一人暮らし／神社祭礼時のパトロール

(4) 見守り活動の活動場所

	自宅	町内会館	老人いこいの家	こども文化センター	その他
町内会・自治会	9	21	3	1	4
民生委員児童委員	6	8	4	2	1
地区社会福祉協議会	2	2	1	0	0
老人クラブ	12	10	3	0	2
小中学校PTA	3	0	0	0	16
母親クラブ・子育てグループ	0	6	0	1	1
合計	32	47	11	4	24



【見守り活動の活動場所 集計結果】

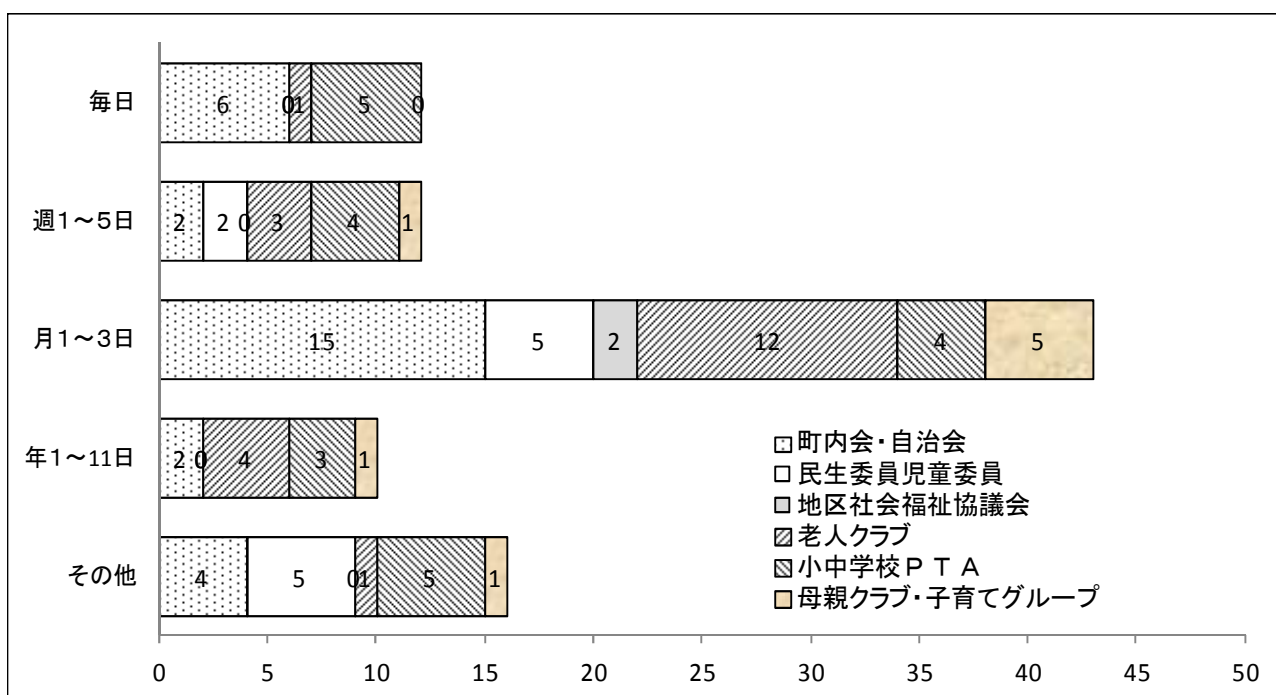
・「町内会館」(47件)を活動場所としている団体が最も多く、次いで「自宅」(32件)の順になっており、生活圏に密着した地域で活動している団体が多い。

その他 記入欄の記載内容 (19件)

教育文化会館／公園、神社内／小学校区公園など (2件) ／小学校／学校 (5件) ／ショッピングセンター／通学路 (7件) ／学校正門前／中学校 (2件)

(5) 見守り活動日数

	毎日	週1～5日	月1～3日	年1～11日	その他
町内会・自治会	6	2	15	2	4
民生委員児童委員	0	2	5	0	5
地区社会福祉協議会	0	0	2	0	0
老人クラブ	1	3	12	4	1
小中学校PTA	5	4	4	3	5
母親クラブ・子育てグループ	0	1	5	1	1
合計	12	12	43	10	16



【見守り活動日数 集計結果】

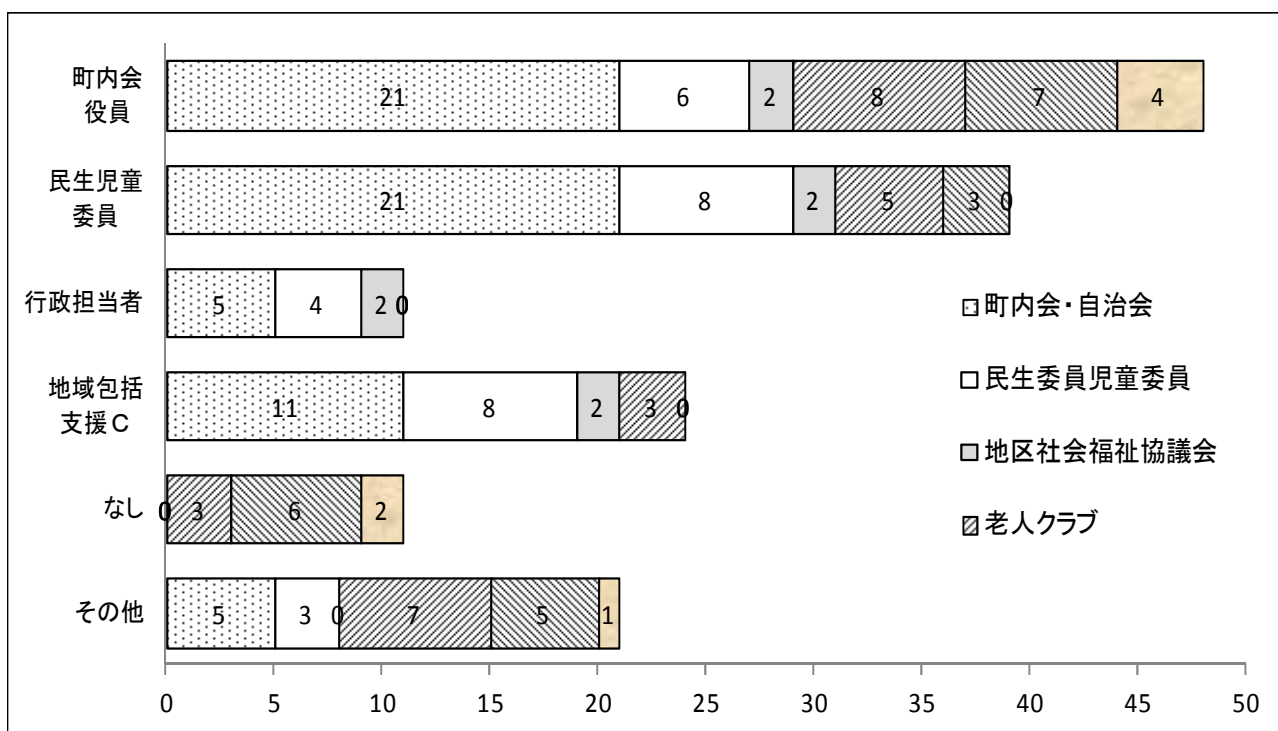
・「月1～3回」(43件)との回答が最も多い。また、「毎日」と回答した団体も12件ある。

その他 記入欄の記載内容 (10件)

町内みまもりつながりの輪/休校日除く/2ヶ月1回/行事等で年4回/おはよう運動のみ週1回/校内見回り年6日、朝の挨拶年40日/入学時期、長期連休明け/保護者対象年数回/対象者によって異なる/状況に応じて

(6) 見守り活動において、連携する地域活動者・団体

	町内会 役員	民生児童 委員	行政担当 者	地域包括 支援C	なし	その他
町内会・自治会	21	21	5	11	0	5
民生委員児童委員	6	8	4	8	0	3
地区社会福祉協議会	2	2	2	2	0	0
老人クラブ	8	5	0	3	3	7
小中学校PTA	7	3	0	0	6	5
母親クラブ・子育てグループ	4	0	0	0	2	1
合計	48	39	11	24	11	21



【見守り活動において、連携する地域活動者・団体 集計結果】

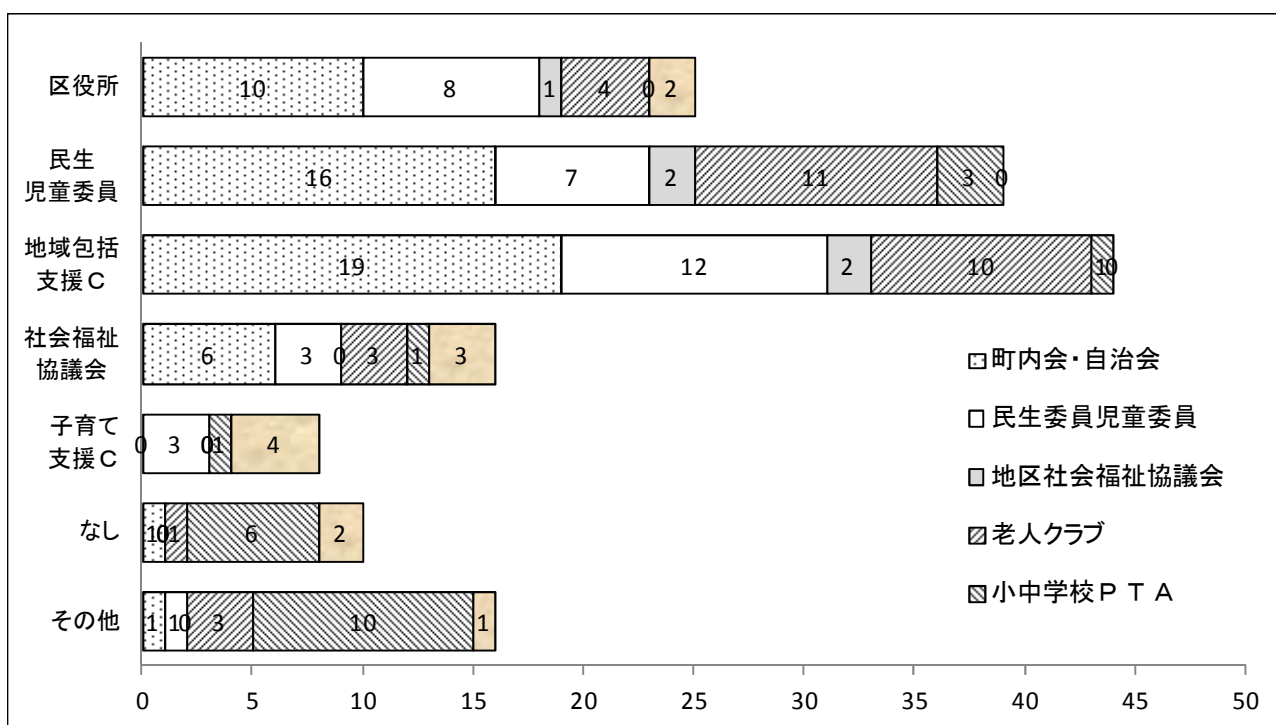
・「町内会役員」(48件)との回答が最も多く、次いで、「民生委員児童委員」(39件)、「地域包括支援センター」(24件)の順となっている。

その他 記入欄の記載内容 (17件)

保健師／福祉協力員／老人クラブ (2件) ／社会福祉協議会、専門機関／老人会 (4件) ／老人会友愛活動委員／老人会役員／昭和町ほのぼの会／みまもりつながりの輪に参加／警察／寿会／青少年指導員／小学校

(7) 見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先

	区役所	民生 児童委員	地域包括 支援C	社会福祉 協議会	子育て 支援C	なし	その他
町内会・自治会	10	16	19	6	0	1	1
民生委員児童委員	8	7	12	3	3	0	1
地区社会福祉協議会	1	2	2	0	0	0	0
老人クラブ	4	11	10	3	0	1	3
小中学校PTA	0	3	1	1	1	6	10
母親クラブ・子育てグループ	2	0	0	3	4	2	1
合計	25	39	44	16	8	10	16



【見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先 集計結果】

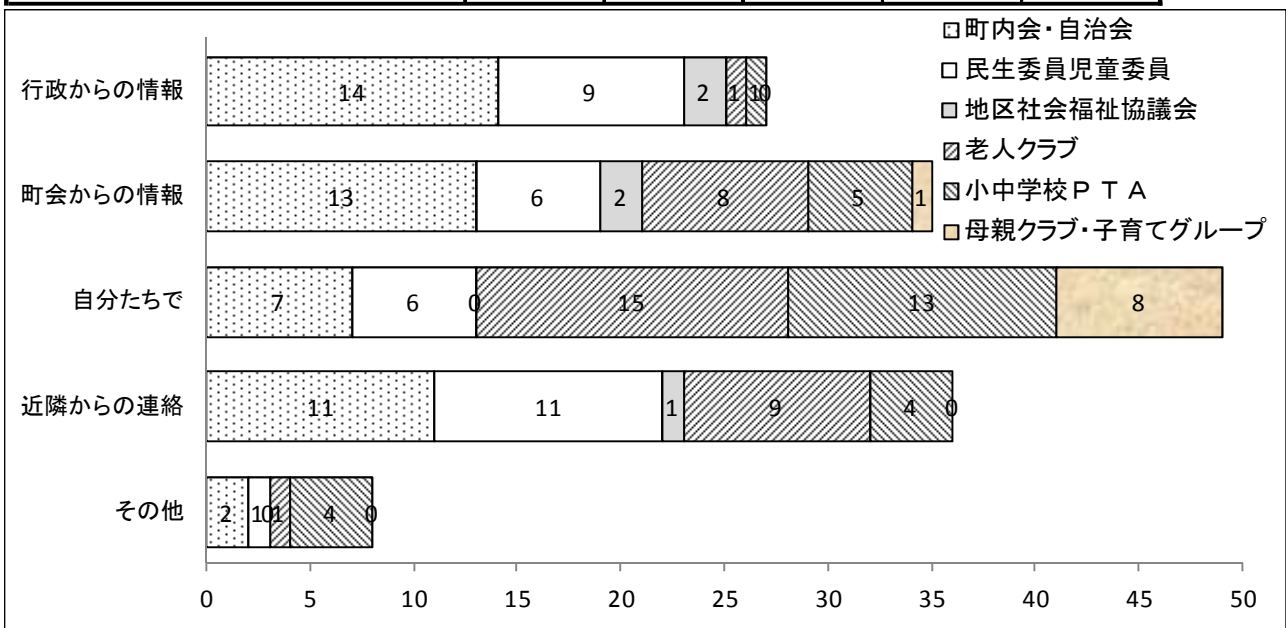
・「地域包括支援センター」(44件)との回答が最も多く、次いで、「民生委員児童委員」(39件)、「区役所」(25件)の順となっている。

その他 記入欄の記載内容 (13件)

南部地域療育センター／専門機関／町内会／老人クラブ役員／みまもりつながりの輪役員／小学校／中学校／学校 (4件) ／地域／中学校教師等

(8) 対象者の把握方法

	行政からの情報	町会からの情報	自分たちで	近隣からの連絡	その他
町内会・自治会	14	13	7	11	2
民生委員児童委員	9	6	6	11	1
地区社会福祉協議会	2	2	0	1	0
老人クラブ	1	8	15	9	1
小中学校PTA	1	5	13	4	4
母親クラブ・子育てグループ	0	1	8	0	0
合計	27	35	49	36	8



【対象者の把握方法 集計結果】

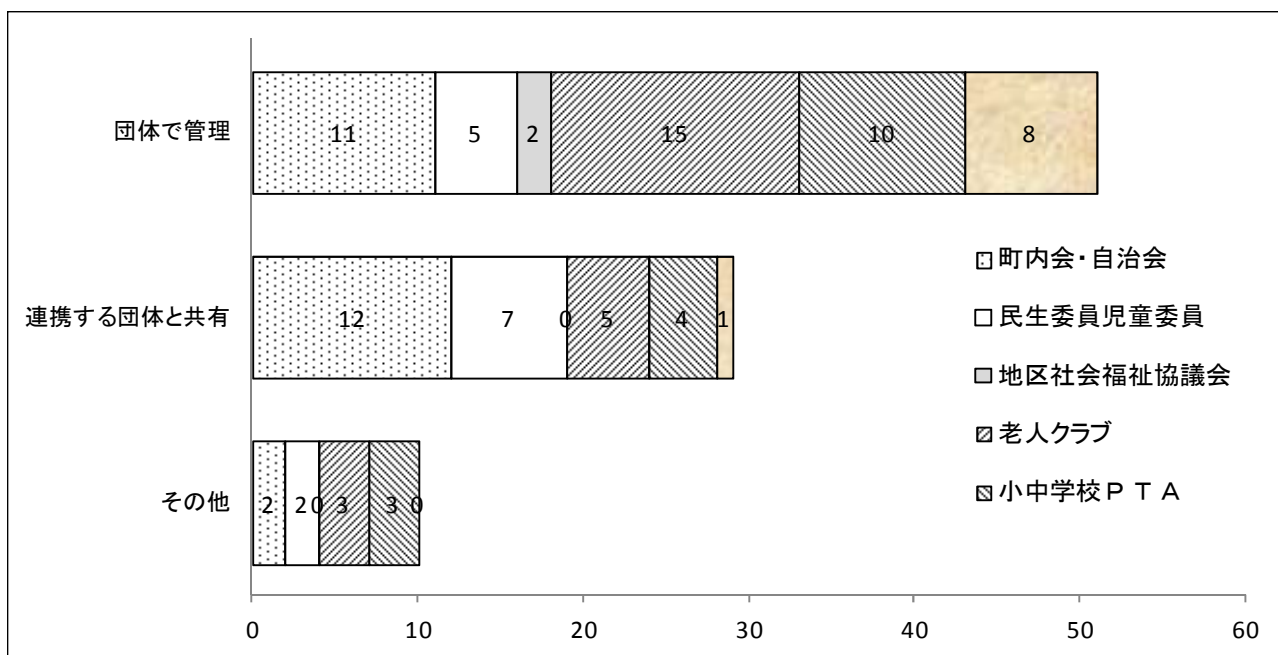
- ・「自分たちで」(49件)との回答が最も多く、次いで、「近隣からの連絡」(36件)、「町会からの情報」(35件)の順となっている。
- ・「その他」記入欄の特徴的な記載としては、「町会で独自にアンケート調査を行い把握(鋼管通2丁目町内会)」が挙げられる。

その他 記入欄の記載内容 (7件)

民生委員同士の連絡等／老人会友愛チーム及び会員からの情報／老人会／町会で独自にアンケート調査を行い把握／中学校区／学校からの情報 (2件)

(9) 個人情報の管理

	団体で管理	連携する 団体と共有	その他
町内会・自治会	11	12	2
民生委員児童委員	5	7	2
地区社会福祉協議会	2	0	0
老人クラブ	15	5	3
小中学校PTA	10	4	3
母親クラブ・子育てグループ	8	1	0
合計	51	29	10



【個人情報の管理 集計結果】

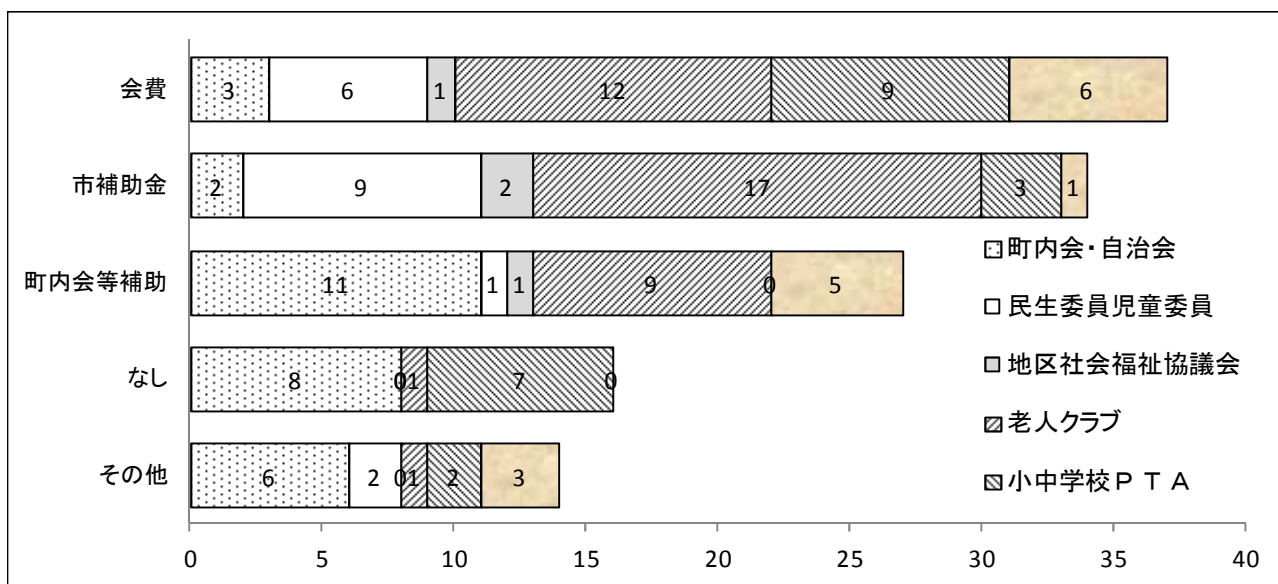
・「団体で管理」(51件)との回答が最も多くなっている。

その他 記入欄の記載内容 (5件)

各人で管理/福祉協力員/友愛クラブ/会長/担当区域内個人管理

(10) 団体の活動財源

	会費	市補助金	町内会等補助	なし	その他
町内会・自治会	3	2	11	8	6
民生委員児童委員	6	9	1	0	2
地区社会福祉協議会	1	2	1	0	0
老人クラブ	12	17	9	1	1
小中学校PTA	9	3	0	7	2
母親クラブ・子育てグループ	6	1	5	0	3
合計	37	34	27	16	14



【個人の活動財源 集計結果】

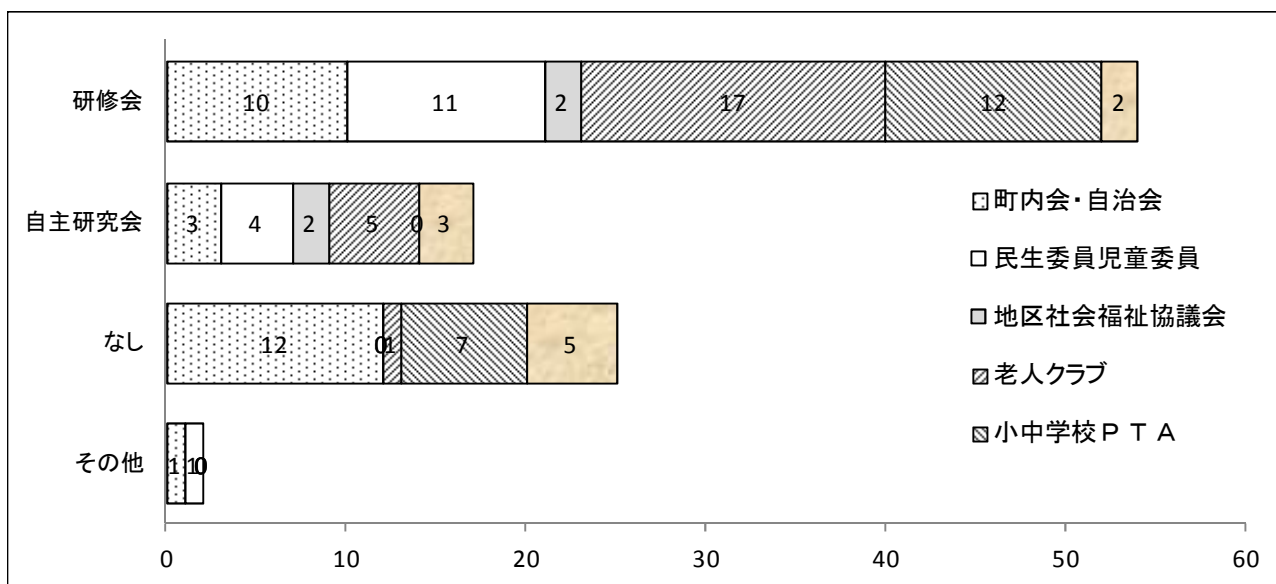
・「会費」(37件)との回答が最も多く、次いで、「市からの補助金」(34件)、「町内会等からの補助」(27件)の順となっている。

その他 記入欄の記載内容 (14件)

寄付金／助成金／社会福祉協議会からの助成金 (5件)／地区民児協と地区社協の助成金 (2件)／川崎市老人クラブ友愛チーム補助金／管理組合からの補助 (2件)／ボランティア／PTA会費

(11) 人材育成

	研修会	自主研究会	なし	その他
町内会・自治会	10	3	12	1
民生委員児童委員	11	4	0	1
地区社会福祉協議会	2	2	0	0
老人クラブ	17	5	1	0
小中学校 P T A	12	0	7	0
母親クラブ・子育てグループ	2	3	5	0
合計	54	17	25	2



【人材育成 集計結果】

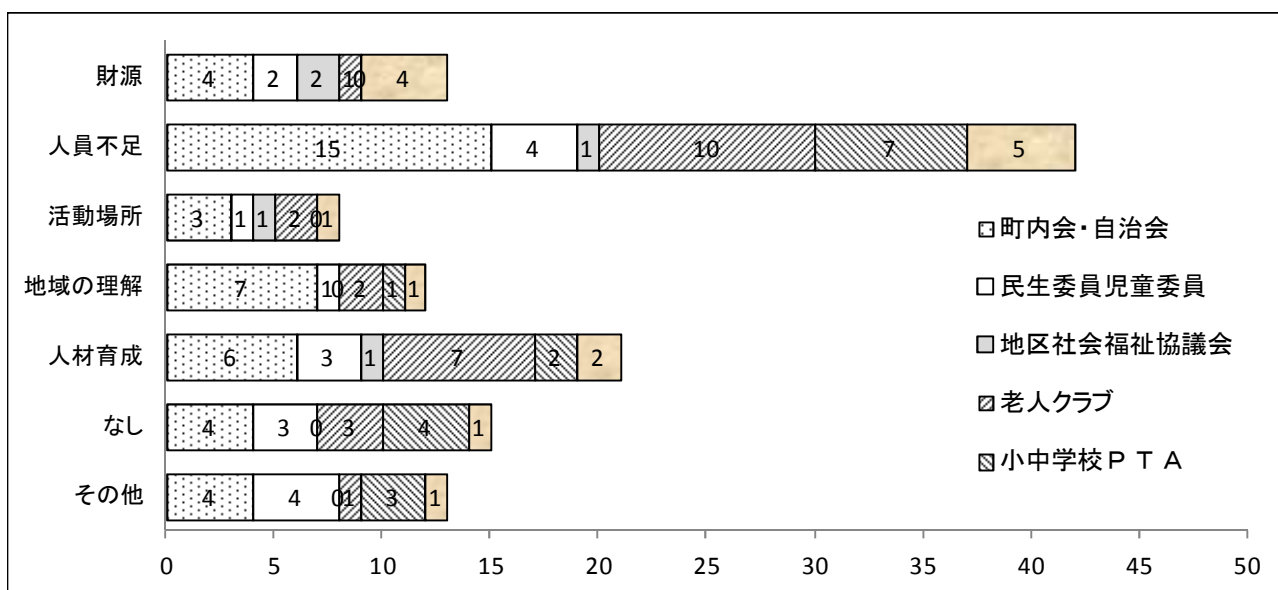
・「研修会」(54件)との回答が最も多い一方で、「なし」(25件)との回答が2番目に多い。

その他 記入欄の記載内容 (1件)

各自の事例を発表・話し合い

(12) 現在の活動の課題

	財源	人員不足	活動場所	地域の理解	人材育成	なし	その他
町内会・自治会	4	15	3	7	6	4	4
民生委員児童委員	2	4	1	1	3	3	4
地区社会福祉協議会	2	1	1	0	1	0	0
老人クラブ	1	10	2	2	7	3	1
小中学校PTA	0	7	0	1	2	4	3
母親クラブ・子育てグループ	4	5	1	1	2	1	1
合計	13	42	8	12	21	15	13



【現在の活動の課題 集計結果】

・「人員不足」(42件)、「人材育成」(21件)と団体の人材に課題があるとの回答が最も多く、次いで、「財源」(13件)、「地域の理解」(12件)の順になっている。

その他 記入欄の記載内容 (12件)

市の出前講座は15人以上集まらないと講師を派遣してもらえない。／行政からの情報の少なさ／会食等、高齢者が集いやすい場所の確保／個人情報の縛り／会員の高齢化／会員の減少／活動に不参加な方の対応／町会内に公園がない／支える人が高齢者である／保護者の理解／他団体との連携

(13) 活動の利点

【自由記入欄への意見】 65 件

◆地域住民との交流・親睦

- ・ 町会の方と知り合えて防犯につながった。地域に愛着が沸き、他の町内の活動にも積極的に参加できた。
- ・ 近隣の親子と知り合うことができ、相談相手ができる。
- ・ 茶話会やイベント行事で町内の親子の親睦が深まった。
- ・ 親子の触れ合いや一人ぼっちの子育てをなくすため、子育て支援を行ってきました。
- ・ 障害のある子を持つ保護者は周りの理解が得られず孤立してしまうことも多く、同じ子を持つ親同士、相談し合えて個々の安定を保つことができる。
- ・ 子どもを通じて保護者同士の交流が小さい頃からあるので、小学校に入ってから不安が減る。近所に知り合いができ、困った時など助け合える。
- ・ 月 1 回の会食会では楽しい場を提供できている。顔の見える関係が構築できている。
- ・ 地域の小さな子を持つママの交流の場を提供できた。
- ・ 委員同士の団結。互助の精神の醸成。
- ・ 地域住民の親近感が生まれた。(5 件)
- ・ 地域住民とのつながり、顔見知りが多くなり絆が強くなっている。(2 件)

◆情報取得・共有

- ・ 合同研修会と新任協力員委嘱状交付。地域集会の開催で福祉協力員同士の交流が深まり、情報共有ができるようになった。
- ・ 地域密着の活動であり、地域の実情が把握でき、貴重な学びの場が得られたこと。事業を行うに当たり、関係機関の協力を得られたこと。
- ・ 健康状態、生活状況を知ることができる。
- ・ 友愛活動や会食会により会員の健康状態が把握できた。
- ・ 老人会の会合に出てこられない会員に会えること。会員の日常の生活が分かること。
- ・ 少ない情報で出会えた時。
- ・ 活動を通じて高齢者の情報が入手できた。会が活発になった。
- ・ 放課後の子どもの活動などが把握できる。(2 件)
- ・ 地域住民と情報・状況の把握ができた。(5 件)
- ・ 校区内の危険な箇所を保護者として把握することができました。保護者間で顔見知りになりました。
- ・ 一人暮らし又は老人世帯の方から、相談等、又は留守にします等、日常の連絡がもらえるようになった。
- ・ 毎月第 2 金曜日の午後に縁側の会を開催。高齢者から友達・近所の情報を得ることができるのがよいです。

◆地域住民への貢献、活動への感謝

- ・ 必要な個人を見守り、良い方向につながられた。
- ・ 本人及び家族からの感謝。(10 件)
- ・ 対象者との会話と笑顔。
- ・ 町内の見守りつながりの輪の活動により、広く相談・活動ができ、老人会事業の活動目的が会員に浸透した。
- ・ 近所の独居老人を見守っている。雨戸、新聞受け、洗濯物等。
- ・ 安心・安全のために役立った。
- ・ こども達を交通事故から守れている。(2 件)
- ・ 月 1 回ワンコインランチ。今後も継続したい。
- ・ 明るいまちを作る。
- ・ 通学路の危険箇所が把握できた。
- ・ 保護者の地域安全に対する意識の向上。
- ・ 子どもの交通ルールに対する意識の向上。
- ・ 通学時のおはよう運動として活動していますが、子供たちが元気にあいさつしてくれるとやっている意味があると感じます。
- ・ 子供たちの顔を知る。教師との交流。通学の確認。

- ・ 学校区や地域の方が気にかけてくれるだけでも、子供たちは安心していただけるし、親も安心できる。

◆その他

- ・ 見守り・支え合い活動をすることで、町内行事への参加が増え、未加入の方も加入してくれる。
- ・ 60～70 世帯しかなく、連絡体制が取りやすい。
- ・ 個人情報扱う面で大変なことがあるが、事情を話せば協力者が多数いる。
- ・ 老人会が活動してくれている。
- ・ こどもの見守りは町会内の組織・構成がしっかりしているので問題はない。高齢者に関しては、顔見知り同士だけでは限界あり。等

(14) 今後の見守り活動の活性化に向けて

【自由記入欄への意見】 60 件

◆人材育成・人材不足

- ・ 人材育成・人員不足の解消。(2 件)
- ・ 民生委員の人材確保。
- ・ 人員(役員・理事)不足を痛感。動ける人材をいかに増やすかが課題。
- ・ 町会未加入の管理組合での人材育成等。
- ・ 友愛チーム5人編成で訪問を行っているが、両者共に高齢化しており、訪問できないことが度々ある。新人の発掘が課題。
- ・ クラブ役員の強化。
- ・ 会員の質の向上を高めていきたい。
- ・ 団体数が減る一方なので、活動が難しくなっている。何らかの対策が必要。
- ・ 町内会役員を含め、地域の高齢化の進展。
- ・ 民生委員としての自覚に欠ける人材が多くなり、これまで以上に人材育成に取り組むことを望む。
- ・ 合同研修会の内容(講演会等)と費用(謝礼)。

◆広報の強化

- ・ 人員不足の解消を目指し、活動の広報に努めていきたい。
- ・ 多くの保護者に積極的に関わってもらえるよう情報発信をしていきたい。
- ・ 登下校の見守り活動をアピールして、多くの方に理解を得たい。
- ・ 私たちの活動を多くの人に広めたい。
- ・ 若年者の理解がない。
- ・ なるべく若い家庭に声掛けをする。老人会、町内会の集いを多くする。
- ・ 友愛活動への理解度の向上。
- ・ 押し付けの見守りや子育て支援ではなく、困ったときはここへ連絡と周知することが大切。

◆活動の充実・継続

- ・ 会員が減少しているので、もっと参加しやすいよう工夫を検討したい。
- ・ 親子共に何かのためになるような楽しいイベントを企画していきたい。区でも無料で講師派遣をして欲しい。
- ・ ひきこもりの高齢者をどのように連れ出すか。
- ・ 役員だけでなくより多くのサポーターさんに参加してもらえる様にする。
- ・ 今の活動を継続していくこと。(2 件)
- ・ 各家庭の実情に合わせて対応しながら、無理なく継続していくことが大切なので、色々な方法を模索していきたい。
- ・ 困っている人から相談を受けたら、話を聞いてあげたり、先生に報告したりする。
- ・ 町会としても今後、見守りをやっていきたい。
- ・ 日常の暮らしの中でちょっとした困りごと、不便と感じる悩みを住民同士でお手伝いして支え合う組織の構築。

- ・ 老人会友愛チーム訪問活動役員の充実。
- ・ 対象者が気楽に相談できる環境を作りたい。
- ・ 3ヵ月に1回訪問先の対象者等の状況を記録し、役立てたい。
- ・ 定期的に会合（研修）を行い、地域別の重点活動、報告会を開催することも良いのではないかと。
- ・ 民生委員の活動は広く、深い。行政からの依頼事項も多く、現状では新しい取組は考えていない。各委員への負担が増えないように考えている。
- ・ 町内会で組織作りをして、住民通しで見守りがきめ細かくできるようにすること。

◆近隣住民の理解・協力

- ・ 防犯・防災組織以外の組織が弱体のため個人的な見守り活動が多い。地域の理解を得て、団体活動ができる様にしたい。
- ・ 町内会に協力してくれる人が増えていくように努力したい。
- ・ 有事の際、活躍するのは近隣の住民であり、日頃から良い関係であることを認識してもらう行動。
- ・ 認知症の方や身障者に対する周辺住民の理解を深め、協力体制を作り上げること。
- ・ 私たち（町内会）は遠くから見守りを行い、変わったことがあれば民生委員に連絡すればよい。民生委員とのつながりを親密にしていれば現状でよい。
- ・ 近隣住人と協力していく。
- ・ マンション住民との交流。
- ・ 第1民生委員児童委員協議会全体として見守り活動はやっていないが、各委員がそれぞれ頑張っている。

◆関係機関との連携

- ・ それぞれの団体が同じように見守りをしているので、横の連携を取り、効率良くできたらと思います。
- ・ 他団体との連携。
- ・ PTAや学校との共有。子どもへの見守り。
- ・ 高齢者の寝たきりの方に会うことは難しい。もっと民生委員や地域包括センターと連携を取ることが大切。
- ・ 各機関からの情報や委員同士の情報共有等をしっかりやっていきたい。
- ・ 高齢者は地域包括ケアセンターとの連携がますます重要。子どもの見守りは難しい。

◆区への要望

- ・ もっとたくさんの方に目を配っていただけると助かります。
- ・ 区役所でも空き家対策を行って欲しい。
- ・ 情報が欲しい。
- ・ 情報が不足しているので、知らせてもいい情報は知らせて欲しい。

◆その他

- ・ 通学路の危険箇所を把握すること。
- ・ 自転車マナー啓発。



第 5 期川崎区区民会議

「地域における見守り活動」に関するアンケート調査報告書

平成 27 年 7 月 第 5 期川崎区区民会議

◆川崎区区民会議ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-15-0-0-0-0-0-0.html>



ねんど 年度	へいせい ねんど 平成26年度												
つき 月	がつ 4月	がつ 5月	がつ 6月	がつ 7月	がつ 8月	がつ 9月	がつ 10月	がつ 11月	がつ 12月	がつ 1月	がつ 2月	がつ 3月	
ぜんたいかいぎ よてい 全体会議(予定)	だい かい 第1回						だい かい 第2回				だい かい 第3回(2/24)		
くみん かいぎ 区民会議フォーラム											○(2/28)		
せんもんぶかい よてい 専門部会(予定)			だい かい 第1回	だい かい 第2回		だい かい 第3回		だい かい 第4、5回	だい かい 第6回	だい かい 第7回		だい かい 第8回	
ちょうさしんぎ れい 調査審議(例)			しんぎかだい せんてい 審議課題の選定			視察・ヒアリングを実施			○2月8日(日)10時～外国につながる市民の防災フォーラム(カトリック教会員塚) ○2月9日(月)18時～区民会議交流会(エポックなかはら)				
			しりょう じょうほう しゅうしゅう かんけいきかん ひありんぐ しきつ かだい ぶんせき 資料・情報の収集、関係機関へのヒアリング、視察、課題の分析										
			かだいかいけつさく しゅほう けんとう 課題解決策、手法の検討 ※										
			ちゅうかんほうこくあん と 中間報告(案)の取りまとめ										
らん メモ欄													

ねんど 年度	へいせい ねんど 平成27年度											
つき 月	がつ 4月	がつ 5月	がつ 6月	がつ 7月	がつ 8月	がつ 9月	がつ 10月	がつ 11月	がつ 12月	がつ 1月	がつ 2月	がつ 3月
ぜんたいかいぎ よてい 全体会議(予定)		だい かい 第1回					だい かい 第2回		だい かい 第3回		だい かい 第4回	だい かい 第4回
くみん かいぎ 区民会議フォーラム								○				
せんもんぶかい よてい 専門部会(予定)	だい かい 第1回			だい かい 第2回		だい かい 第3回		だい かい 第4回		だい かい 第5回	だい かい 第6回	
ちいき はぐく ぶかい 地域を育むまちづくり部会	かだいかいけつさく しゅほう けんとう・じっし 課題解決策、手法の検討・実施							くみんかいぎ 区民会議 フォーラム	ていあんないよう けんとう 提案内容の検討		さいしゅうほうこくあん 最終報告(案)の 取りまとめ	
だれもがいいきき暮らし部会	あんけーと じっし アンケートの実施		アン ケートま とめ	ひありんぐ じっし ヒアリングの実施		かだいかいけつさく しゅほう けんとう・じっし 課題解決策、手法の検討・実施						
らん メモ欄			○6月2日 川崎区大師地区こども育成 支援団体情報交換会								○2月3日(水) 区民会議交流会 エポック中原	

第5期川崎区区民会議委員名簿

別紙1

任期：平成26年4月1日から平成28年3月31日まで

平成27年6月15日現在

No.	氏名	分野	推薦団体	部会※	
				地域	いき
1	あかま やすお 赤間 靖夫	だんたいすいせん ちいきそしき 団体推薦【(7)地域組織・まちづくり】	かわさきく 川崎区まちづくりクラブ	○	
2	あらい かずなり 新井 一成	こうぼ 公募	—	○	
3	あらい ときこ 新井 トキ子	だんたいすいせん ぼうさい ちいきこうつう 団体推薦【(1)防災・地域交通】	かわさきく あんぜん あんしん 川崎区安全・安心まちづくり推進協議会		○
4	あらまき ゆうこ 荒巻 裕子	くちょうせんニン こ かんけい 区長選任（子ども関係）	—		○
5	いしわた かつろう 石渡 勝朗	だんたいすいせん ふくし けんこう 団体推薦【(2)福祉・健康】	かわさきく ほごしかい 川崎区保護司会		○
6	いわせ きぬよ 岩瀬 絹代	こうぼ 公募	—	○	
7	かないわ いさお 金岩 勇夫	だんたいすいせん ぶんか かんこう 団体推薦【(6)文化・観光】	かわさき れきし 川崎区歴史ガイド協会	○	
8	ちねん じまあんな 知念 ショアンナ	くちょうせんニン がいこじんしん 区長選任（外国人市民）	—		○
9	つかはら はるみ 塚原 晴美	だんたいすいせん こそだ きょういく 団体推薦【(3)子育て・教育】	かわさきく きょうぎかい 川崎区PTA協議会	○	
10	とむら まさふさ 戸村 正房	だんたいすいせん さんぎょう 団体推薦【(5)産業・まちの活力】	かわさき たうんまねーじめんときかん 川崎タウンマネージメント機関	○	
11	なかむら きみこ 中村 紀美子	だんたいすいせん ぶんか かんこう 団体推薦【(6)文化・観光】	かわさきく ぶんか きょうかい 川崎区文化協会		○
12	のせ はるみ 埜瀬 晴美	こうぼ 公募	—	○	
13	ぼく ちゃんほ 朴 昌浩	こうぼ 公募	—		○
14	はた としお 畑 敏雄	だんたいすいせん ふくし けんこう 団体推薦【(2)福祉・健康】	かわさきく かわさきく しやかいふくし きょうぎかい 川崎市川崎区社会福祉協議会		○
15	はら ちよこ 原 千代子	くちょうせんニン た ぶんかきょうせい こ かんけい 区長選任（多文化共生、子ども関係）	—		○
16	ふかせ きんのすけ 深瀬 欣之助	だんたいすいせん ちいきそしき 団体推薦【(7)地域組織・まちづくり】	かわさきく れんごうちやうないかい 川崎区連合町内会	○	
17	ふじむら みのる 藤村 稔	だんたいすいせん ちいきとくせい 団体推薦【(8)地域特性】	かわさきしょうこうかいぎしょ 川崎商工会議所	○	
18	もりわき たくろう 森脇 卓郎	くちょうせんニン こうれいしゃかんけい 区長選任（高齢者関係）	—		○
19	やまだ よし たか 山田 義孝	だんたいすいせん こそだ きょういく 団体推薦【(3)子育て・教育】	かわさきく みるせい いいいん じどう いいいん きょうぎかい 川崎区民生委員児童委員協議会		○

※「地域」：地域を育むまちづくり部会、「いき」：だれもがいきいき暮らす部会

だれもがいきいき暮らす部会 座席表

べつし
別紙2

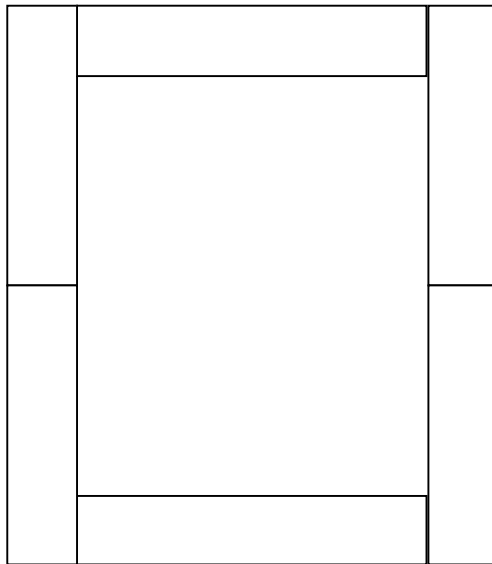
原
部
会
長
はらぶかいちちよう

やまだいん
山田委員

もりわきいん
森脇委員

はたいいん
畑委員

ぱくいん
朴委員



あらいときこいん
新井トキ子委員

あらまきいん
荒巻委員

いしわたいん
石渡委員

ちねんいん
知念委員

なかむらいん
中村委員

ながぬまきかくかちよう
長沼企画課長

やまぐちふくくちよう
山口副区長



じむきよく
事務局

じむきよく
事務局



平成27年度第1回川崎区区民会議（全体会議） 摘録

日 時：平成27年5月26日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 17名

赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、石渡勝朗、岩瀬絹代、金岩勇夫、
知念ジョアンナ、塚原晴美、戸村正房、中村紀美子、埜瀬晴美、朴昌浩、畑敏雄、
原千代子、深瀬欣之助、森脇卓郎、山田義孝

参与 5人

岩崎善幸参与、片柳進参与、佐野仁昭参与、林敏夫参与、西村恭仁子参与

傍聴 1人

（進行：山口副区長）

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 配布資料の確認
- 原田歩委員への黙祷

2 区長あいさつ、参与、事務局紹介

（大谷区長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、参与の皆様、ご当選おめでとうございます。今後とも川崎区政にご尽力いただけますようよろしくお願いいたします。

平成26年4月にスタートした第5期川崎区区民会議ですが、いよいよ最終年度である2年目に入りました。昨年、1年間、地域の課題解決に向けて、皆様に非常に熱心にご審議いただいた結果、2月にカトリック貝塚教会で外国人市民を対象とした防災フォーラムを開催するなど、一定の成果を出していただいているところでございます。今期の区民会議で扱っている課題は、いずれの課題も重要で簡単に解決できる課題ではありませんが、皆様のアイディアと行動力で最終的な提言の取りまとめに向けて、今年度1年間、審議を進めていただくことを期待しまして、私のあいさつといたします。今年度も1年間よろしくお願いいたします。

- ・ 新参与である片柳参与、林（敏夫）参与の紹介
- ・ 4月の人事異動による新たな事務局職員の紹介

3 委員紹介

- ・ 新しい委員となる藤村委員の紹介を行った。（本人は欠席。寺尾委員の後任で川崎商工会議所所属）

4 委員長の選出、委員長あいさつ

- ・ 推薦により、新委員長は新井トキ子委員、新副委員長は石渡勝朗委員が就任した。
- ・ 新井（ト）委員のあいさつ
- ・ 石渡副委員長のあいさつ

（進行：新井トキ子委員長）

5 議題

（1）専門部会の進捗状況について

各専門部会の進捗状況について、「資料1：第5期川崎区区民会議「地域を育むまちづくり部会」進捗状況報告」及び「資料2：第5期川崎区区民会議「だれもがいきいき暮らす部会」進捗状況報告」を使用し、各部会長が説明した。

各専門部会の進捗状況について、主な意見・コメントは以下のとおり。

<地域を育むまちづくり部会について>

（防災対策の充実について）

朴委員 防災手帳は、大人に配布するだけでなく、小学生等にも配布するので、ドラえもんや妖怪ウォッチなどのキャラクターを使って、子どもが持っているようになるような手帳にしていればと思います。

戸村委員 本日はたたき台としてお見せしましたが、是非、子どもにも受けるような防災手帳にしていきたいと思っています。

また、部会の議論でも、今後検討しなければならない課題が多く残されていて、例えば、防災手帳の大きさや防災手帳に掲載する内容などを決めていかないといけません。是非、何かご意見がありましたら、お聞きしたいです。

岩瀬委員 先日、川崎市消防局から「あなたは身の安全を守れますか」とい

うパンフレットが自宅に届いていました。防災手帳をつくるにあたって、このような資料があると、より意識も高まると思いますので、資料をつけて配布するといいいと感じます。

金岩委員 防災手帳を持つことはいいと思いますが、特に高齢者は様々な手帳やカードを持ち歩いていると思います。例えば、お薬手帳と統一するなど一冊に合冊できるような仕組みがあるといいいと思います。

(子どもの遊び場づくりについて)

朴委員 私の家の近くの公園では、禁止事項の多い公園が多く、子どもがボール遊びをできる公園がありません。

戸村委員 私が感じるのは、大人が野球をやっている危険ではありませんが、子どもが野球をやると危険になります。この差は何なのかというと、大人が野球をやる環境は野球場として整えられており、子どもが自由に球技をできる場所は限られています。中瀬公園のように球技のできる公園を増やしていくような検討を行いたいと思っています。

石渡副委員長 先日の部会に参加させていただき、海風の森を見学しました。

非常に緑が多く、多様な生態系があり、素晴らしい公園だと思いましたが、やはりアクセスが悪い場所であることがネックになっています。是非、行政に協力いただきながら、交通の便をもっと良くして、利用者を増やして欲しいと思います。また、粗大ごみを捨てていく人がいて、駐車場を開放できなくなったとのことでしたが、公園の管理運営方法を検討する必要があると思います。

戸村委員 例えば、バス停の名称を「海風の森」と変えていただいただけでも、周知の効果があると思いますので、行政やバス事業者の協力もいただければと思います。

岩瀬委員 私も海風の森の視察に行き、藤棚の下で青空会議を行いました。

原田委員がとても力を入れて活動なさっていて、素晴らしい公園だと感じました。川崎区に夢パークをという話がありますが、現状の公園などを、木を切ったり、ゴミ拾いしたりして、子ども達と一緒に作り変えていく活動ができれば面白いと思います。夢パークのように好きなことができる場所も良いと思いますが、子ども達が様々な体験をしながら、一緒に公園をつくりあげていくことができれば、子どもにとっても良いと感じました。海風の森は、昔は行きやすく、人も多かったと思います。現在は、ちどり公園の方が、駐車場もありとても行きやすいです。

富士見公園は、近場で利用しやすい公園ですが、子ども達が遊べる遊具などをもっと置いたりして、さらに発展させて子ども達が遊べる公園になったらいいなと思います。

朴委員 私が小学生のときに、ごみ焼却施設を見学に行きました。その際に、ごみを焼却した灰を使って、浮島町公園のところに埋立地を造成していたと記憶しています。その場所の埋め立ての状況はどうなっているのでしょうか。また、行政は、その場所を何に使っていくのでしょうか。

大谷区長 現在その場所には、太陽光パネルが設置されたメガソーラー発電所になっています。他にもごみ焼却場やエコ暮らし未来館、首都高のジャンクションなどがあります。また、ごみの焼却灰を使った埋め立ては、現在も続いており、全てが完成するのは約40年後の話になるため、埋立地の土地利用に関しては、まだ白紙の状態です。

中村委員 浮島町公園だけでなく、浮島地域全体的にもっといいと思います。かわさきエコ暮らし未来館をもっとPRしてもいいと思います。

また、市民健康の森に関しては、約15年前に川崎市の各区に市民健康の森を1つずつ作るということでスタートしましたが、川崎区だけ森がないということで、浮島町公園に木を植えることになりました。原田委員がとてご尽力されて、ほとんど毎週現地に行つて、様々な種類の花やみどりを植えて管理をされてきました。ボランティアの皆様がいたから現在の素晴らしい公園があると思います。

かわさきは、とてもいいものがあるのに、PRが下手だと感じます。子ども公園も昔はひどく荒廃していましたが、現在のようないい公園になったので、子ども達が自由に遊べる公園を増やしていければいいと思います。

<だれもがいきいき暮らす部会について>

(地域における見守り活動の充実)

畑委員 だれもがいきいき暮らす部会では、現在、地域における見守り活動に関するアンケート調査期間中です。今後、アンケートの取りまとめ、ヒアリングの実施などを予定しており、非常に時間が無い状況です。次回の部会は7月の予定とのことですが、それでは遅いので、部会の中にさらに作業部会のようなものを作って、事務局に全てを任せるのではなく、自分たちでやるために、少人数で作業ができる部会を開催し、スピードアップを図ってみてはどうかと思っています。

原委員 私も賛成です。しっかりと提言にまとめていくためには、必要だと思

ます。アンケートを作成する段階でも、作業部会を実施しました。6月9日にアンケート回収が終わり、その結果をまとめ、分析し、ある程度の今後の方向性を7月の部会で提案できればいいと考えています。

事務局 2年次目ということで、提言に向けて時間が無い状況ではありますが、だれもがいきいき暮らす部会では、部会とは別に、少人数で集まり作業をしていただいている状況です。事務局としても、皆様の自主的な集まりを拒否する理由はありませんし、できるだけ私達も参加したいと思っっているので、どうぞよろしくお願ひします。

深瀬委員 見守り活動のアンケートについて、先日の区町連の理事会で、町会と民生委員ではアンケートの捉え方が異なるのではないかというご意見がありました。町会と民生委員が密な関係になっていない町会もあり、中には守秘義務があるため細かい部分は答えられないとのことでした。アンケートは、団体ごとや地域ごとにより方を変える必要があるかもしれません。

山田委員 確かに地域によって状況はさまざまですが、まずは実態を把握するためにも、アンケートを取り、その結果を受けて、今後の検討を考えればいいと思ひます。

子育てを通じた世代間交流について

新井(一)委員 以前の第1回情報交換会を傍聴させていただきましたが、各団体の問題点、課題が出て、現場の実態把握ができたと感じました。今回、大師地区での第2回目の情報交換会とのことですが、川崎区の区民会議ということで、是非中央地区及び田島地区でも開催に向けて検討をしていただければと思ひます。さらには、地区ごとではなく、区全体としての開催も可能性があるとと思ひます。

また、大師地区の第1回情報交換会で出た問題や課題について、解決する提案を区民会議として行うのでしょうか。

それから、第2回情報交換会では、中学1年生の事件についても話題が及ぶと思ひます。今後、その事件をテーマにしていくことは考えているのでしょうか。

石渡委員 区民会議の役割としては、情報交換会の立ち上げをお膳立てするまでと考えています。そのため、本来であれば、大師地区の第2回情報交換会は、区民会議の手を離れて、活動団体の皆様で情報交換会を開催していくという流れが理想的で望ましいものでした。しかし、なかなか事務局機能の担い手が難しいため、今回は区民会議の事務局にお願ひをして、開催に至りました。

た。

田島地区、中央地区でも開催の可能性は十分にありますが、土台が必要で、ある程度土台が構築されれば、川崎区全体の開催などを検討していきたいと思

います。いつまでも区民会議に頼りきりではいけないと考えています。また、上村くんの事件について、テーマとして取り上げることは考えていませんが、話題もしくは意見として出てくると思います。その場合には、お互いに協力しあって何がしていけるのかを議論しながら、安心・安全なまちづくり

りに力を入れて、考えていく必要があります。子どもの見守りとしては、教育会議で夜間の見守り、安全パトロールが始まったところです。現在、テーマとして考えているのは、カローリング等のスポーツを通じた世代間交流を進めていければいいと考えています。カローリングを区民のスポーツとして、盛んにしていきたいと考えており、それが三世代の世代間交流につながっていくと思

います。戸村委員 情報交換会では、問題点や課題を聞くだけでなく、それに答えていくことも必要であるし、別の地区で開催することも大事ですが、成果として徐々に深掘りしていくことも重要だと感じます。

石渡委員 参考にして、様々な議論をしていきたいと思

います。深瀬委員 地域の状況によって様々な差がうまれてくると思

います。特に、中央地区は地域差が激しく、ワンルーマンションが多い地区や人が住んでいない地区もあります。そのため、中央地区での情報交換会の開催は難しいのではないかと感じて

います。埜瀬委員 情報交換会に行きたいと思

いますが、誰でも参加できるのでしょうか。石渡委員 情報交換会に、区民会議の委員の皆様にも参加していただきたいと思

考えています。森脇委員 情報交換会は、区民会議が受け皿ではなく、区民会議がきっかけを作

って、地域の人が情報交換会を開催し、自分たちで課題を解決していくもの

だと思

います。定期的な情報交換会の開催が難しいという問題は、誰がどういった役割を担うのかといったことを会の中で考えていかなければいけないと思

います。知念委員 地域の人が情報交換会を自発的に継続開催していければいいと思

いますが、なかなか難しいと思うので、区民会議としてフォローアップして

いくことも考えていく必要があると思

じょうきょう ふ まえながら、さぽーとしていけばいいと かんが えています。

(2) 審議スケジュールについて

しんぎすけじゅーる について、「資料3：審議スケジュール」を使用し、じむきょく が説明した。ご意見は出なかった。

(3) その他

「参考資料5：平成27年度川崎区地域課題対応事業一覧」「参考資料6：平成27年度いきいきかわさき区提案事業一覧」について、じむきょく が説明した。

4 閉会

しゅつせき されたさんよ からこめんと をいただいた。こめんと の内容は以下のとおり。

いわさきさんよ みな かつぱつ いけんこうかん かんしん みまも かん 岩崎参与 皆さん、活発な意見交換をされていて感心しました。見守りに関する かつどう じつたいはあく わたし ひじょう きょうみ も ねんご 活動の実態把握については、私も非常に興味を持っております。3年後に こうれいしゃふくしけいかく かいいてい よてい なか こうれいしゃ かた しょうがいしゃ かた 高齢者福祉計画が改定される予定ですが、その中で、高齢者の方も障害者の方も ちいき す つづ しく ちいきほうかつけ あしすてむ も地域に住み続けられるような仕組みづくりとして、地域包括ケアシステムの こうちく かいだい くみんかいぎ いいん みなさま ぎろん 構築をしていくことが課題となっています。区民会議の委員の皆様のご議論も さんこう さんこう れんけい おも こんご ねが 参考にしながら、連携していければと思います。今後ともよろしくお願ひし ます。

かたやなぎさんよ みな ぎろん き あんけーと こうえん しさつ みまも かつどう 片柳参与 皆さんの議論を聞いて、アンケートづくりや公園の視察、見守り活動 だんたい れんけい ば たさい しゅたい ひじょう 団体の連携の場づくりなど、多彩なことを主体となってやっていることに非常 に感激しました。私も子育て世代ですが、同じ子育て世代の皆様からボール遊 びができる公園をつくらたいというご要望も多く頂いています。引き続き みな いけん さんこう かつどう おも 皆さんのご意見を参考にさせていただきながら、活動していきたいと思ひます。 こんご ねが 今後ともよろしくお願ひします。

はやし としお さんよ ほんじつ くみんかいぎ じゅうようせい にんしき みな 林(敏夫)参与 本日は、区民会議の重要性を認識させていただきました。皆さ んの議論や取組みが、川崎区の安心・安全なまちをつくらっていくことにつな がっていると感ひしました。見守りに関しては非常に大事な課題だと思ひます。皆 さんと課題を共有しながら、取ら組んでいきたいと思ひます。今後ともよろ しくお願ひします。

さんよ ぼうさいてちょう すば とりくみ おも かながわけん 西村参与 防災手帳について、素晴らしい取ら組だと思ひますが、神奈川県でも ぼうさいかーど つく さんこう おも 防災カードを作らっており、ぜひ参考にさせていただければと思ひますし、小学4

ねんせい はいふ ぼうさいきつずかーど くみんかいぎ ちいき
年生に配布する「防災キッズカード」というものもあります。区民会議は地域
みつちやく かだい かいけつ じもと じょうほう
に密着した課題を解決していくということなので、地元の情報であったり、
かぞく ま あ ぼしよ きにゆう じしん しょほう くすり なまえ
ご家族の待ち合わせ場所が記入できたり、ご自身が処方している薬の名前を
きにゆう
記入できたりするといいいと感(かん)じました。

うみかぜ もり うみかぜ もり けんさく じゅうしょ で
また、海風の森について、「海風の森」で検索しても住所が出てこないの
うみかぜ もり し 市民けんこう もり うきしまちょうこうえん おな
海風の森なのか、市民健康の森なのか、浮島町公園なのか、それぞれが同じ
ものであるという相(そう)関(かん)性(せい)を持(も)たせていただければと思(おも)います。本(ほん)日(じつ)はありが
とうございまして。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごご じ ふんへいかい
午後8時15分閉会

いじょう
(以上)